しょう3 こくご「話し合い・新聞・文の 書き方」 その1

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿　　がつ　にち　てん ＿＿＿＿ / 20

1　調べた ことを なかま分けして 書くと、どんな よい ことが ある?

ア 書く ことが 少なく なる　**イ** 調べた 数が ふえる

ウ にて いる ことが まとまり、分かりやすい　**エ** 読む 人が まよいやすく なる

こたえ ＿＿＿＿

2　目次と さくいんの ちがいで 正しい ものは?

ア どちらも 本の はじめに ある　**イ** 目次は 本の おわり、さくいんは 本の はじめに ある

ウ 目次は 本の はじめ、さくいんは 本の おわりに ある　**エ** どちらも 本の おわりに ある

こたえ ＿＿＿＿

3　「りんご・バナナ・ねこ・みかん」の 中で、なかまに 入らない ものは?

ア みかん　**イ** りんご　**ウ** ねこ　**エ** バナナ　こたえ ＿＿＿＿

4　「本を 読みました。」を「だ・である」の 文に 書きかえた ものは?

ア 本を 読むのです。　**イ** 本を 読んだ。　**ウ** 本を 読みましょう。　**エ** 本を 読みます。

こたえ ＿＿＿＿

5　話し合いで、「のこりは あと 5分です」と みんなに 知らせる 役わりは?

ア し会　**イ** 記ろく係　**ウ** 発表する 人　**エ** 時計係　こたえ ＿＿＿＿

6　記ろく係が 黒板に 意見を 書く とき、よい 書き方は?

ア 話し合いが おわってから まとめて 書く　**イ** 話した 言葉を 一字も のこさず 書く

ウ さんせいと 反対に 分けて、短く 書く　**エ** 自分が よいと 思う 意見を えらんで 書く

こたえ ＿＿＿＿

7　「3日の 9時に 校門に あつまります。水とうと ぼうしを わすれずに。」メモと して 正しい ものは?

ア 3日 9時 校庭 / 水とう・ぼうし　**イ** 13日 9時 校門 / 水とう・ぼうし

ウ 3日 9時 校門 / 水とう・ぼうし　**エ** 3日 7時 校門 / 水とう・ぼうし　こたえ ＿＿＿＿

8 何さつにも 分かれた 百科じてんで「たんぽぽ」を 調べる。どの 本を 手に とる?

ア「は」で はじまる 言葉が 入った 本　イ いちばん さいごの 本　ウ いちばん あつい 本

エ「た」で はじまる 言葉が 入った 本　こたえ ＿＿＿

9 「だ・である」で 書くと、文 章は どんな かんじに なる?

ア たずねて いる かんじ　イ とても ていねいな かんじ　ウ たのんで いる かんじ

エ 言い切って きっぱりした かんじ　こたえ ＿＿＿

10 メモを 取って いて、聞きのがした ところが あった。どう する?

ア あとで 話した 人に たずねて たしかめる　イ 友だちの メモを だまって うつす

ウ その メモは すてて しまう　エ 自分で 考えて うめて おく　こたえ ＿＿＿

11 話し合いで 友だちの 意見が よく 分からなかった。どう すると よい?

ア「その 意見は だめです」と 言う　イ「〜とは どういう ことですか」と たずねる

ウ 分かった ふりを して だまって いる　エ 何も 聞かずに ちがう 話を はじめる

こたえ ＿＿＿

12 話の 中 心を 聞き取る ための 手がかりに なる ものは?

ア 話の 中で 何回も 出て くる 言葉　イ 話す 人の 服の 色

ウ「ええと」などの つなぎの 声　エ 話の さいごの あいさつ　こたえ ＿＿＿

13 新聞を 作る ときの じゅんばんと して よい ものは?

ア きじを 書く → 取ざいする → わりつけを する

イ きじを 書く → わりつけを する → 取ざいする

ウ 取ざいする → わりつけを する → きじを 書く

エ わりつけを する → きじを 書く → 取ざいする　こたえ ＿＿＿

14 話を 聞く ときに 大切な ことは?

ア となりの 人と 話しながら 聞く　イ 話して いる 人の ほうを 見て 聞く

ウ 手あそびを しながら 聞く　エ 下を 向いて 本を 読みながら 聞く　こたえ ＿＿＿

15 次の うち、文の おわりが「です・ます」に なって いない ものは?

ア 公園で 遊んだ。　**イ** 公園は 広いです。　**ウ** 公園で 遊びました。　**エ** 公園へ 行きます。

こたえ ＿＿＿

16 意見が 2つに 分かれた とき、し会が すると よい ことは?

ア それぞれの よい ところを くらべて 話し合う　**イ** すぐに じゃんけんで 決めて しまう

ウ し会が 一人の 考えで 決めて しまう　**エ** 話し合いを とちゅうで やめて 帰る

こたえ ＿＿＿

17 次の うち、「だ・である」で 書いた 文は?

ア 今日は 雨です。　**イ** 今日は 雨だ。　**ウ** 今日は 雨ですね。　**エ** 今日は 雨でした。

こたえ ＿＿＿

18 いろいろな 本を 読むと、どんな よい ことが ある?

ア 字を 書かなくて よく なる　**イ** 同じ ことばかり 知る ように なる

ウ 知らなかった ことや 考え方に 出会える　**エ** 友だちと 話さなくて よく なる

こたえ ＿＿＿

19 話し合いの 進め方として 正しい じゅんばんは?

ア まとめる → ぎ題を たしかめる → 意見を 出し合う

イ 意見を 出し合う → まとめる → ぎ題を たしかめる

ウ ぎ題を たしかめる → 意見を 出し合う → まとめる

エ ぎ題を たしかめる → まとめる → 意見を 出し合う　こたえ ＿＿＿

20 次の うち、「です・ます」で 書いた ていねいな 文は?

ア 花が さいて いる。　**イ** 花が さいて いるね。　**ウ** 花が さいて います。

エ 花が さいて いるよ。　こたえ ＿＿＿

こたえと かいせつ　しょう3 こくご「話し合い・新聞・文の 書き方」 その1

1　**ウ にて いる ことが まとまり、分かりやすい**

ばらばらの ままより 読みやすい。

2　**ウ 目次は 本の はじめ、さくいんは 本の おわりに ある**

さくいんは 本の うしろの ほう。

3　**ウ ねこ**

食べる ものは どれかな。

4　**イ 本を 読んだ。**

「ました」を 言い切りの 形に する。

5　**エ 時計係**

話し合いの 長さを 見て いる 係。

6　**ウ さんせいと 反対に 分けて、短く 書く**

みんなが 見て すぐ 分かる ように。

7　**ウ 3日 9時 校門 / 水とう・ぼうし**

日にち・時こく・ばしょを 一つずつ くらべよう。

8　**エ「た」で はじまる 言葉が 入った 本**

言葉の 1文字めで さがす。

9　**エ 言い切って きっぱりした かんじ**

「〜だ。」で 話を むすぶ。

10　**ア あとで 話した 人に たずねて たしかめる**

まちがった メモは 役に 立たない。

11　**イ「〜とは どういう ことですか」と たずねる**

分からない ことは しつもんで たしかめる。

12　**ア 話の 中で 何回も 出て くる 言葉**

大事な ことは くり返し 話される。

13　**ウ 取ざいする → わりつけを する → きじを 書く**

調べないと きじは 書けない。

14 **イ 話して いる 人の ほうを 見て 聞く**

話す 人も 話しやすく なる。

15 **ア 公園で 遊んだ。**

文の いちばん おわりを 見よう。

16 **ア それぞれの よい ところを くらべて 話し合う**

どちらの 考えも 聞いて みる。

17 **イ 今日は 雨だ。**

「です」が ついて いない 文。

18 **ウ 知らなかった ことや 考え方に 出会える**

本は 知りたい ことを おしえて くれる。

19 **ウ ぎ題を たしかめる → 意見を 出し合う → まとめる**

何を 話すかを 先に はっきり させる。

20 **ウ 花が さいて います。**

文の おわりを 見よう。